

小さい頃の下諏訪は商店街がいくつもあり、活気に満ちていた。駄菓子屋やおもちや屋もあって、友達と一緒に歩いて楽しかった。歩いては路地の隅々まで熟知していたし、遊ぶ場所は沢山あった。今の子どもたちと比べて、町内での行動範囲はかなり広がったと思う。湖畔には何軒もホテルが立ち並び、大社周辺の旅館も休日ともなれば連日満員の賑わいをみせていた。私の家は代々続く川魚屋で、それら旅館にも食材を卸しており、子どもの頃よく配達に連れて行ってもらった。旅館の厨房は広く、何人もの職人が忙しく飛び回っていた。しかし、現在



### 誇れる故郷下諏訪

矢木西 林 伸一

の下諏訪は商店も旅館も減ってしまった。下諏訪だけでなく全国的にシャッター商店街が増え、小さな商店街は沈滞ムードだ。下諏訪に生まれて四十数年、世代を超えて在り続けることの難しさを、継承していくことの難しさを私も自分の仕事を通してかみしめている。けれども一方では、下諏訪には元気な人たちがまだまだ沢山いると思う。日本全体が元気な時に元気なのは珍しくはないが、不景気な時代に元気であるということはなかなかできないのではないかと、回を重ね続ける各種イベント、こんな時代に自分たちで自分たちの街の活性化を図ろうとする民間のパワーは尊く、商業者の端くれとして「私も見習わねば」と思う。また、私よりもかなり年配だが現役バリバリで働

いている方々の姿を見ると本当に頭が下がる。黙々と働いているその姿は「お前たち！頑張れ！俺達に負けるな！」と言っているように見えるのだ。四月、湖岸にて、薄暗く頼りない光量の街灯に照らされた満開の桜を見ながら「もつとライトアップされれば綺麗だろうな」と思いつつ歩いていたら、一本だけ桜の木が明るく照らされていた。はつと息を飲むほどの桜、見事な光景だった。光源はある飲食店の駐車場からの投光機。これが桜を照らすために使われているとしたら電気代も顧みない気概のある店主だと思った。「みんな頑張っているな」と思える場面は他にもいくつもある。そんな頑張っている人たちの姿は本当に励みになる。私もいつかそんな誰かの背中をそっと押せるような人になりたいと思う。東京で暮らしていた時、帰省



の度に水や空気がとても美味しく感じられた。夜でも重苦しく濁った感じのある都会の空気や生温かい水に比べて、澄んだ空気に冷たい水。それまであまり感じていなかったが、その時初めて水の美味しさや故郷の有り難さを感じた。下諏訪に生まれ育ち、離れ、戻り、そして家庭を持った。子どもたちもそれぞれ悩みを抱えながらも成長してくれている。この子らが故郷の有り難さに気づくのはまだまだ先だ。「有り難いなあ」と思える故郷として下諏訪を存続させていくことは私たちの責務。私も「誇れる故郷下諏訪」を次の世代に引き渡せるよう努力したいと思う。



下社春宮

### お宝いっぱい町の

高木 田中 亜由美



生まれも育ちも、と言いたいところですが、私が下諏訪町へ来たのは小学校の入学直前でした。小学校、中学校と町内で育ち、高校を出たあとはしばらく県外で過ごしたものの、なんとなく、なんとなくですが、きっと下諏訪町に戻ってくるんだらうと思っていました。運よく、私と同じように「町外に住むイメージができない」という人と出会い、しっかりとこの町に根を下ろすことができました。子どもの頃は、家と学校、お稽古の教室だけが行動範囲。そこしか知らないのに、私は町中を知っている、歩いているつもりでいました。外で遊ぶことは

少なかったけれど、通学路でもあった秋宮にいたことが多かったでしょう。あのころは鳥居の前の道が狭くて、母たちが交代で旗持ちをして子どもたちの登校を見守ってくれていました。要望が受け入れられて横断歩道ができ、今では道の形が変わり、とても見通しの良い場所になりました。私の暮らしは常に秋宮と共にあり、小学生の時や大人になつてからも、長持ちを担ったことは本当に良い思い出となっています。お祭りも、結婚式も、子どものお参りも諏訪大社。自慢でもあり日常である秋宮は、勝手にしながら私の誇りです。文章に起こしては気づいたのですが、私の場合、秋宮に関する思いが強かったので、ずっとこの町に住みたいと感じていたのかもしれない。

れません。仕事柄、町の中をてくてく歩くことが多いのですが、知らない道、知らない場所の多いことに気づかされます。発見できる宝がいっぱいの下諏訪町、家族と、友だちと、イベントも利用して、たくさん歩きたいですね。住む人も町そのものも健康で長生きできるように、町の皆さんで考えを出し合い、自分たちの町の将来を人任せにせず、力を出し合っていけたらいいなと思います。若い人たちは、人生の先輩である方々を敬い、ご年配の方々には、まだまだ未熟な若者たちを温かく指導し見守っていただいて(ずうずうしい!!)、仲良く暮らしていただける嬉しいです。



少年野球 (高浜運動公園)



降雪の石仏 (H24.12.28)



お舟祭り (H25.8.1)